

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

H 2 5 年 第 1 回 (3 月) 定 例 会

- 1 宮 澤 一 照
- 2 塚 田 克 己
- 3 樗 沢 諭
- 4 山 川 香 一
- 5 八 木 清 美
- 6 堀 川 義 徳
- 7 横 尾 祐 子
- 8 吉 住 安 夫
- 9 渡 辺 幹 衛
- 1 0 作 林 一 郎
- 1 1 関 根 正 明

予算総括質疑通告要旨

H25年第1回（3月）定例会

1 宮澤 一 照

- 1 大洞原みんなの花園整備事業について
- 2 地域活性化施設活力向上事業について
- 3 ふるさと妙高の家づくり事業について
- 4 都市と農村交流推進事業について
- 5 旧大鹿保育園改修事業について
- 6 妙高高原体育館建設事業について
- 7 スポーツ施設整備事業について
- 8 スキーのまち妙高ジュニア育成事業について
- 9 地域の元気づくり活動助成事業について
- 10 いじめ・不登校対策推進事業について

1 市民主体の健康づくり事業について

- 1) 今議会に元気いき健康条例を提案中であるが、この条例をより実効性あるものにするため、健康づくりの推進に関する計画の策定をどのように進めるのか。
また、健康づくりに関する評価の仕組みはどのように考えて進めるのか。
- 2) 25年度の具体的な取り組みをどのように進めるのか。

2 ごみ減量・リサイクル推進事業について

- 1) 資源循環型社会への転換を実現するには、可燃ごみの計画的減量対策が喫緊の課題だが、具体的な取り組み内容はどうか。
- 2) ごみの分別地域説明会はどのようにして実施するのか。

3 友好都市交流事業について

市民との関わりをどのように進めるのか。

4 広域観光推進事業について

- 1) 広域観光圏認定に伴う、25年度の具体的な取り組み内容は。
- 2) 信越観光圏整備計画の「善光寺発こころの旅路 信越ふるさと回廊」の実効性ある取り組みをどのように進めるのか。

5 地域産品支援事業について

交流都市へのPRや販売後の販路拡大対策をどのように進めるのか。

6 住まいのリフォーム促進事業について

先着順の考え方と商品券の発行理由は。

7 緊急時に備えたライフラインの管理体制について

ガス、水道、下水道等の緊急時における管理体制はどうか。

8 生活交通確保対策事業について

- 1) 23年度と24年度の市内バス運行に係る経費はどのくらいか。
- 2) 地域公共交通総合連携計画の策定目的と具体的な内容は。

1 職員能力開発事業について

- 1) 平成 24 年度の新分野・新規課題等の研究の成果と平成 25 年度の継続の取り組みは。
- 2) 研修会講師委託料 150 万円等の内容は。
- 3) メンタルヘルスチェックとその結果に応じた研修の具体的な内容は。
- 4) 階層別・専門分野別研修の 44 人の内容は。

2 協働型地域コミュニティ創出事業について

- 1) 地域のこし活動支援補助金 520 万円の概要は。
- 2) 町内会長会議の概要は。
- 3) 地域サポート人の「地域のこし」活動の成果と今年度の取り組みは。
- 4) 「地域のこし協力隊」の募集要項、定住活動、地域サポート人との連携は。

3 空き家等適正管理事業について

- 1) 市内の新井地域・妙高高原地域・妙高地域の空き家の軒数は。また、管理義務者に対して、円滑で適正な管理推進策は。
- 2) 協働作業に対する支援の基準は。

4 地域活性化施設活力向上事業について

- 1) 各施設の特長・魅力は何か。また、名物料理は何か。
- 2) 地域活性化施設活力向上イベントの内容は。

5 特色ある教育活動支援事業について

- 1) 市内の各小学校の特色と実情をどのようにとらえているか。
- 2) 特色ある教育活動支援交付金の支給基準と、各学校の主な教育目標・課題の取り組み内容は。
- 3) 総合学習等に対する支援の内容は。

1 妙高出会いサポート事業について

- 1) 「未婚男女への多彩な出会い事業の実施」とあるが、具体的な内容は。
- 2) 「結婚相談やセミナーによる結婚意識の向上」としているが、24年度の結果はどうか。また25年度の具体的な内容は。

2 広域観光推進事業について

- 1) 信越高原連絡協議会での、旅行者者などとの連携による誘客事業の具体的な内容は。
- 2) 観光客増加と費用対効果をどのように見ているか。
- 3) 25年度に特に重点を置く取り組みは何か。

1 高齢者等バス利用支援事業について

高齢者等の外出を支援し、社会参加をふやすために昨年度から取り組んだ高齢者等バス無料化事業が平成25年5月末で終了する。

- 1) 高齢者等バス無料化の実証運行の効果と市民の声はどうだったか。
- 2) 利用券や利用方法に問題はなかったか。
- 3) 新年度事業では、高齢者等を対象に市内での乗降区間のみ100円の運賃となるが、実証運行の形態は、昨年度からの高齢者等バス無料化事業のときと同様か。
- 4) 時刻表がわかりにくいとの話を聞いているが、簡単なマップ式の地域別時刻表も必要ではないか。

2 生活交通確保対策事業について

高齢者にやさしく、わかりやすいバス事業が目指せるか。

- 1) 交通不便地域を解消する「デマンド型乗合タクシー」の実証運行は、どのような計画か。
- 2) デマンド型乗合タクシーは、高齢者にわかりやすく、利用しやすいのか。
- 3) 地域公共交通総合連携計画の具体的な内容はどのようになっているか。

1 友好都市交流事業について

- 1) 友好都市に新しく港区が加わったがその理由は。
- 2) 25年度に行われる、友好都市交流事業の具体的な内容は。
- 3) 健康保養地プログラム（妙高型ヘルスツーリズムプログラム）の具体的な規模と内容は。

2 街なか賑わい創出事業について

- 1) 近年のあらいまつりの参加者とその傾向は。
- 2) あらいまつりを計画し実行するまでのプロセスは。
- 3) 25年度のあらいまつりは40回記念となるが、特別な企画はあるのか。
- 4) 共通プレミアム商品券は好評であり、昨年度は2回発行されたが、本年度も好調であれば追加の発行を考えているのか。
- 5) 共通プレミアム商品券の利用状況の分析はしているのか。

3 妙高生産物ステップアップ事業について

- 1) チャレンジ支援として予想される、農林水産物及び加工品とは何か。
- 2) 継続的な支援を行うのか。

4 ふるさと妙高の家づくり事業について

- 1) 過去に市産材は、どの程度使用されているのか。
- 2) 妙高市内にはどの程度、建築材としての森林があるのか。
- 3) 建築材料としての単価は、一般的な材料とどの程度差があるのか。
- 4) 市内において林業を営んでいる人の人数とその売上高は。

5 食育推進事業について

- 1) 現在の妙高市民の塩分摂取量の状況は。
- 2) 「みょうこう減塩生活大作戦」における効果検証の方法は。

1 行財政改革推進事業について

- 1) 公共施設の有効活用・再配置の検討や民間委託の推進の具体的な内容は。
- 2) スリム化や効率化を図ることにより、サービスの低下につながらないか。

2 広報・広聴活動推進事業について

- 1) ホームページのリニューアルの取り組み内容は。
- 2) 妙高チャンネルを市民が満足できる内容にするための取り組みは。

3 新井中央小学校区放課後児童クラブ整備事業について

- 1) 施設整備の内容は。
- 2) 新たに取り組む内容とその目的は。
- 3) 東の教育ゾーンとして捉えた、放課後児童クラブと近隣施設との今後の連携はどのようなか。

4 いじめ・不登校対策推進事業について

- 1) 当市のいじめ・不登校児童生徒の現状は。
- 2) いじめ・不登校減少のために、今後どのような取り組みを考えているか。
- 3) フリースクールで学習する児童生徒への就学支援について。
 - ① 就学支援の具体的な内容は。
 - ② 今年度、就学支援に取り組む目的は。

5 スポーツタウンづくり推進事業について

- 1) 越後妙高コシヒカリマラソン大会について
 - ① 近年の参加者の推移はどうか。
 - ② 開催日の日程やコースは例年どおりか。
- 2) ラジオ体操講習会の開催について
 - ① 開催の目的と具体的な内容は。
 - ② 地域への負担はないのか。

3) フィットネス教室について

- ① 教室の具体的な内容は。
- ② 生涯スポーツとして、市民への積極的な啓発をどのように考えているか。

8 吉住安夫

1 花のあるまちづくり支援事業について

- 1) 花のあるまちづくり支援事業のイメージをどのように考えているか。
- 2) 事業をどのような取り組みで進める考えか。

2 地球温暖化対策推進事業について

- 1) 妙高型カーボンオフセット事業の規模、内容は。
- 2) エコタウン計画、エコファミリーの募集等をどのように考えているか。
- 3) 太陽光発電システムの個人設置支援及び制度の概要は。

3 大洞原みんなの花園整備事業について

- 1) 花畑の活用と花の種類、作付け面積は。
- 2) 妙高山麓都市農村交流施設とヒマワリ畑への動線をどのように考えているか。

4 合併処理浄化槽設置整備事業について

- 1) 整備促進に対し地元の理解が得られているか。
- 2) 合併処理浄化槽設置後の浄化槽の管理・指導の考えはどうか。

5 志浄水場の更新について

- 1) 妙高市の上水道計画にどのように反映されるか。また、上水規模、事業費はどうか。
- 2) 施設の施工計画年度割をどのように考えているか。

1 市税等の徴収について

- 1) 大口滞納の解消見込みはどのようなか。
- 2) 固定資産税の課税が免除されている盛田財団体育館の使用状況はどのようなか。(24年度、月別に使用日数、人数等)

2 職員能力開発事業について

- 1) 職員の健康管理は効果が上がっているか。
- 2) 職員の評定と昇給号数に差を生じた原因は何か。

3 行財政改革推進事業について

- 1) 一層の民営化を進めるというが、公契約条例もない状況下で、非正規・低所得者をふやすだけになる。どのように担保されるか。
- 2) 非正規職員の待遇改善はどのようなか。
- 3) 年金支給開始年齢の先送りとの関連で、この4月以降雇用延長が義務付けられるが、どのような対応か。

4 就労支援事業について

その後のパナソニック再雇用状況をどのように把握しているか。

5 TPPに関連して

- 1) 農地集約は後継者問題・荒廃防止等への役割もあるが、TPP対応などというのは全くの幻想だ。今後の小規模農家対応は。
- 2) 地域を守る小規模農家「半農半X」についての見解は。
- 3) ふるさと妙高の家づくり事業の市産木材使用推奨と森林大国日本の木材自給率2割台低下について、どのような認識か。

6 サテライト妙高維持管理事業について

- 1) 24年度の経営状況は。
- 2) 25年度見積もり根拠と見通しは。

7 小中学校の施設管理事業について

24年度に引き続き洋式トイレ設置工事が計上された。排便は食事や睡眠とも密接に関連する基本的な生活習慣だ。また避難所や地域の行事で高齢化との関連でも必要だ。整備目標は全トイレか。

8 子どもの健康づくり事業について

T P Pの前倒しのような輸入牛月齢の緩和と検査体制の見直しだが、B S E対策と「学校給食に使わないで」という要望も聞く。安全対策は。

9 小中学校の教育振興事業（就学援助制度）について

- 1) 年度途中での申請を受け付けているが、その場合「申請忘れ」等必要性が確認できれば、4月にさかのぼって支給されるか。
- 2) 対象児童・生徒の率で平成19年度6.8%から23年度13.6%への向上努力は評価するが、生活保護基準の1.3倍がそのままであるなら、生活保護基準の引き下げで、対象から外れる児童・生徒の見込みと対応は。

10 基礎学力向上支援事業について

- 1) 大津市第三者調査委員会報告、社会が「ますます競争原理と効率を求める方向に」進んでいるとの指摘への見解は。
- 2) 大規模学校や多人数学級の状況は。（対象児童・生徒数）
- 3) 理解が不十分な児童・生徒への対応は。
- 4) 少人数教育、放課後学習・補習への対応の重要性を考慮しているが、一方で学校統廃合等それとは逆行する施策を推進している。適正規模論、切磋琢磨論を振りかざすことをやめて、複式学級の解消、教員の加配で教師がテストに頼らなくとも児童・生徒の状況を十分把握できるような環境づくりが必要だ。保護者や地域の願いに答えるべきではないか。

10 作 林 一 郎

1 高齢者福祉施設整備事業について

- 1) 現在の待機者は。
- 2) 特養は社会福祉法人越後上越福祉会に決定しており、プレゼン内容が優れていたと聞くが、他社と比較して何が優れていたのか。

- 3) 平成 25 年度に特養 (80 床、ショートステイ 10 床)、認知症高齢者グループホーム (18 床) の整備が予算化されているが、市民から保険料の値上げにつながるような、不安の声はないか。
- 4) 平成 26 年度に特養の整備も計画されていると聞かすが、待機者数と比べると不足傾向にある。平成 27 年度以降の整備計画をどのように考えているか。

2 長沢いきいきホーム管理運営事業について

- 1) 地域の総意と行政の支援で整備され、昨年の冬より入居されているが、定員未達となっている。当初計画では 4 名から 5 名の方が希望されていると聞いていたが、定員に満たなかった主な原因は何か。
- 2) 入居促進 (PR・条件) と今後の入居見通しは。
- 3) 他の地区でも希望があると聞かすが、設置の考えは。

3 医師確保・地域医療対策推進事業について

- 1) 医師確保 (地元出身医師への働きかけ) の進捗状況と今年度の取り組み内容は。
- 2) けいなん総合病院の整形外科と眼科の医師確保をどのように考えているか。

4 除雪対策・克雪施設整備事業について

- 1) 今冬の除雪に関する課題と反省点は。
- 2) 除雪出動の判断基準と指示系統は。
- 3) 除雪オペレーター育成と要員確保について、平成 24 年 3 月定例会において質疑の中で対応策について検討すると答弁されていたが、検討状況は。
- 4) 消雪パイプの稼働状況及び水位状況は。
- 5) 消雪井戸の掘削 (公・企・個人) の状況は。
- 6) 水位低下を防止するために規制の考えは。

5 木造住宅耐震化推進事業について

- 1) 市内の対象軒数は。
- 2) この事業で診断・設計・工事を実施した件数は。
- 3) 耐震化補強工事をしない住宅の対応は。

4) 市民への耐震化促進のPRをもっと積極的に行う考えは。

6 非常備消防費について

1) 各分団の団員確保状況の実態は。

2) 新規事業として特別消防団員制度の導入とあるが、導入地域、時期、活動内容、団員数等はどのように考えているか。

3) これからの消防団のあり方についてどのように考えているか。

7 いじめ・不登校対策推進事業について

1) 県内も増加傾向にあるが、小・中学校の実態は。

2) 未然防止や早期発見と対応とあるが具体策は。

3) 教育委員会、その他機関との連携は。

11 関根正明

1 空き家等適正管理事業について

1) 管理義務者との折衝の方法は。

2) 管理不全な空き家等認定調査会の内容は。

2 企画費（北陸新幹線・並行在来線関連）について

1) 新幹線開業に向けた着地型旅行商品の造成のコンセプトは。

2) 開業PRの方向性は。

3) 妙高高原以南に対する考え方は。

3 総合計画策定事業について

1) 市民意識調査等の実施・分析の方法は。

2) 総合計画審議会の内容は。

4 国立公園「妙高」魅力アップ事業について

- 1) 自然資源の保護活用と地域の活性化を目的とする妙高ビジョンの目指すものは。
- 2) 上信越国立公園から分離独立は。

5 地球温暖化対策推進事業について

公共施設で削減された二酸化炭素排出量についての、国内クレジットの活用方法は。

6 名香山風致地区見直し事業について

名香山風致地区の見直しの概要は。